

# Press Release



2017年8月1日

コベストロジャパン株式会社

このプレスリリースは7月25日にドイツ・コベストロ社が発表したものを日本語に翻訳したもので、報道関係者各位へ参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語を優先します。原文は [www.covestro.com](http://www.covestro.com) をご参照ください。

## グループの売上高と利益が大幅に増加

### **コベストロ、第2四半期に利益の力強い伸び**

- グループの売上高は17.0%増の35億ユーロ
- 主要製品の販売量は1.6%の微減
- EBITDAは56.5%増の8億4千8百万ユーロ
- 純利益は倍増の4億8千4百万ユーロ
- フリー・オペレーティング・キャッシュフロー（FOCF）は34.6%増

#### **ドイツ・レバクーゼン、2017年7月25日ー**

成功で始まった2017年第1四半期に続き、コベストロは第2四半期も好調を維持しました。ポリマー材料の需要が堅調に推移したことにより、業界同様、コベストロの生産設備の稼働率が前年同期比で改善しました。その結果、EBITDAは56.5%、純利益は110.4%の大幅増となっています。同時に、主要製品の販売量は好調だった前年同期比で1.6%の微減となりました。一方で、半期ベースでは主要製品の販売量は、前年同期比で3.5%増となっています。

コベストロは中期でも好調な勢いが継続することを見込んでいます。「世界の国内総生産よりも早く成長すると予想される当社の顧客産業と一緒に成長し続けたいと考えています。今後5年間で、フリー・オペレーティング・キャッシュフローを累計で50億ユーロ生み出すことを見込んでいま



す。それによって、機会が生じれば、スペシャリティーズ分野のボルトオン買収に使用することができます。さらに、有機的成長も目指します」と CEO であり暫定 CFO のパトリック・トーマスは述べています。

### **売上高とフリー・オペレーティング・キャッシュフローは大幅な伸び**

2017 年の第 2 四半期の売上高は、17.0%増の 34 億 9 千 8 百万ユーロになりました。これは主に販売価格の上昇によるもので、売上高に 15.3%のプラス効果をもたらしました。販売価格の上昇は、高い生産設備の稼働率と前年比で原材料価格が上昇した影響を受けています。フリー・オペレーティング・キャッシュフローは 3 億 1 千 9 百万ユーロになり、前年同期比で 34.6%の増加となりました。

「今後も、できる限り当社の製品の堅調な需要に応えたいと考えています。特にポリウレタン事業とポリカーボネート事業では、生産プラントにさらに投資し、ボトルネックを解消するための措置を講じます」と、チーフ・コマーシャル・オフィサーのマーカス・スタイレマンは説明しました。

### **業績見通しは変更なし、第 3 四半期の EBITDA ガイダンス**

コベストロは、第 1 四半期の好調な業績を踏まえ修正した通期業績見通しを変更しません。今後も主要製品の販売量が一桁台前半から半ばに増加し、フリー・オペレーティング・キャッシュフローが過去 3 年間の平均を大幅に上回ることを予測しています。コベストロは引き続き、2017 年の使用資本利益率（ROCE）が前年度の水準を大幅に上回ることを予測しています。

前年を大幅に上回ることが予想されている今年の EBITDA についても同様です。コベストロは、今年の第 3 四半期の EBITDA が前年同期比を大幅に上回ることを見込んでいます。

コベストロはまた、グローバル経済が前向きに発展し、2017 年には世界経済が前年比で 3.0%成長すると予測しています。

### **ポリウレタン事業とポリカーボネート事業が収益増に貢献**

ポリウレタン事業の第 2 四半期における主要製品の販売量は、前年同期比で 2.3%減少しました。主な要因はポリエーテルポリオール製品グループと、MDI と TDI 製品グループの製品の在庫制約によるものです。EBITDA は、主として利益率の改善により前年同期比で 143.9%増の 5 億 5 千 6 百万ユーロになりました。高い需要を最適な方法で満たすため、コベストロは当面スペイン・タラゴナで、硬質フォーム原料である MDI の生産を継続する決定をすでに 3 月に発表しています。



同時に、ドイツ北部のブルンスビュッテルプラントのMDI生産能力を倍増し、2018年末までに年産約40万トンにする計画です。

ポリカーボネート事業は、主要製品の販売量が前年同期比0.7%と微増しました。予想通り、好調だったこれまでの四半期と比べると、今期は弱い成長となりました。第2四半期の弱い成長率は、ヨーロッパにおける在庫の制約によるものです。その一方で、2016年の第2四半期以降、利益を挙げていた上海の生産施設の生産能力の増強にも起因しています。EBITDAは3.1%増の1億9千7百万ユーロになりました。特に、アジア・パシフィック地域における需要増に対応するため、コベストロは上海の生産プラントをさらに増強し、2019年の稼働開始を計画しています。コベストロはすでに世界最大級のポリカーボネートメーカーのひとつです。

塗料・接着剤・スペシャリティーズ事業の主要製品の販売量は、前年同期比で3.0%減少しました。その理由は、今年前半に行われた販売量のシフトです。第2四半期のEBITDAは、前年同期比で19.7%減の1億1千4百万ユーロでした。特に、原材料価格の高騰と販売量のわずかな減少がEBITDAにマイナスの影響を及ぼしました。コベストロは、この事業でも生産能力の増強をしました。中国で塗料の原材料を生産する世界規模のプラントが昨年操業を開始しています。

### **2017年上半期は非常に好調**

全体として、コベストロの2017年最初の6カ月は非常に好調でした。堅調な需要の継続により、主要製品の販売量は前年同期比で3.5%増加しました。売上高は販売価格が14.4%上昇したことにより20.8%増の70億8千4百万ユーロになりました。EBITDAは主としてポリウレタン事業の収益増によって61.3%増の16億9千4百万ユーロになりました。FOCFも68.8%と著しく増加し、5億3千万ユーロになりました。

第2四半期の業績は、様々な顧客産業や主要地域でコベストロが力強い位置を確立していることを裏付けています。コベストロは、この成功を継続するため前向きに一步を踏み出し、5月に取締役会の変更を発表しました。パトリック・トーマスが2018年9月に満了する契約を更新しないことを表明した後、監査役会によりマーカス・スタイレマンが後任に任命されました。CFOであるフランク・H・ルッツの辞任を受け、チーフ・テクノロジー・オフィサーであるクラウド・シェーファーが労務責任者としての職務を引き継ぎました。パトリック・トーマスは、後任が見つかるまでCFOとしての業務を兼任します。

.....



### コベストロ社について

コベストロ社は 2016 年度売上高が 119 億ユーロの世界最大のポリマー製造企業のひとつです。主たる活動分野は、高機能ポリマー材料の生産、および日常生活の多くの分野で使用されている製品の革新的ソリューションの開発です。主要な顧客は、自動車、建築、木材加工・家具、そして電気・電子の各産業です。他にもスポーツ・レジャー、化粧品、ヘルスケアや化学の各産業向けに製品を提供しています。コベストロ社（旧バイエル マテリアルサイエンス）は、世界中の 30 拠点に生産施設があり、社員数は 2016 年末で約 15,600 人（正社員）です。詳しくはこちらをご覧ください。 [covestro.jp](http://covestro.jp)

---

#### 【この件に関するお問い合わせ先】

コベストロジャパン株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園 1-7-6 クロスプレイス浜松町 7F

広報部 梅澤 Tel:03-6403-9112 / Fax:03-3436-1540

---



	2016年 第2四半期	2017年 第2四半期	前年比
	(百万ユーロ)	(百万ユーロ)	%
主要製品販売量増減	7.70%	-1.6%	
売上高	2,990	3,498	+17.0
売上高差異			
販売量要因	+4.5%	+0.6%	
価格要因	-8.7%	+15.3%	
為替要因	-2.7%	+1.1%	
製品構成要因	0.0%	0.0%	
EBITDA ※1	542	848	+56.5
EBIT ※2	364	687	+88.7
当期純利益	230	484	>100
フリー・オペレーティング・キャッシュフロー	237	319	+34.6

※1 金利・税金・償却前利益

※2 金利・税引前利益

#### 将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、コベストロ社による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれている可能性があります。さまざまな既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因にはコベストロのウェブサイト ([www.covestro.com](http://www.covestro.com)) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。コベストロは、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負うものではありません。